Course number	U-LAS06 20006 LJ41		
Course title (and course title in English)	国際法入門 Introduction to International Law	Instructor's name, job title, and department of affiliation	Part-time Lecturer,ARAI KYOU

Group	Humanities and Social Sciences	Field(Classification)	Jurisprudence, Politics and Economics(Issues)

Language of instruction	Japanese	Old group	Group A	Number of credits	2

Number of weekly time blocks	1	Class style	Lecture (Face-to-face course)	Year/semesters	2024・Second semester

Days and periods	Wed.2	Target year	All students	Eligible students	For all majors

[Overview and purpose of the course]

国際法は、国際社会の秩序を維持し、国際社会共通の課題に対処することを目的とした法です。規律対象は国家・国際組織で、その権利義務を規定し、行動を規律します。

資源が乏しく世界に依存してしか生きていけない日本には、国際法の知識が不可欠の武器だと言えます。坂本龍馬は「刀よりもピストル、ピストルよりも万国公法（国際法）」と説いたそうです（明治維新期から現代まで、この教訓が活かされることはありませんでした）。日本では、自信喪失・不安感から内向きになり、ガラパゴス的な独りよがりの理屈や世界から虐められているという被害妄想がひどくなってきましたが、このような独善は状況をさらに悪化させるだけです。現在の状況は、まさに龍馬の言う「ピストル（経済力や軍事力）よりも国際法」の時代なのです。

このようなわけで、本講義を通じて、皆さんに国際法の基本的なセンスを身につけていただきたいと考えています。

[Course objectives]

国際社会の様々な事象について法的に分析する基本的能力を習得する。

[Course schedule and contents)]

【講義は録画授業を配信する形で実施する。】

第1回　国際法の存在意義
第2回　国際法の「かたち」と「はたらき」
第3回　条約の可能性
第4回　国家の独立と承認
第5回　領域権原
第6回　海の国際法１
第7回　海の国際法２
第8回　人権保障の国際化
第9回　国際紛争の平和的解決
第10回　集団的安全保障
第11回　自衛権
第12回　（質疑応答の時間）
　＊この回のみZoomまたは何らかのチャット機能を利用して実施する。
第13回　戦争犯罪を裁く
第14回　国際法の歴史性

Continue to 国際法入門(2)↓↓↓

国際法入門(2)

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

定期試験（レポート）の成績（100%）

[Textbooks]

芹田健太郎（編）『コンパクト学習条約集』（信山社）
薬師寺公夫他（編）『ベーシック条約集』（東信堂）
岩沢雄司（編）『国際条約集』（有斐閣）
上記のいずれかの条約集を持参されたい。
なお、毎回レジュメ・参考資料をKULASIS**を通じて配布する。**

[References, etc.]

（References, etc.）
Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

レジュメに引用されている条約の条文や判例の予習。
講義時間中に指示する参考文献の研究。同じく指示される「参考書」での復習。

[Other information (office hours, etc.)]